

視聴覚教育

NO. 482

発行日

R5. 7. 1

編集・発行

岡崎市 A V L

編集協力

現職研修委員

会

これ知ってる！？

【 heic ファイルとは？ 】

iOS の標準となっている画像のファイル形式。 「JPEG」 よりも高画質で画像の容量が薄い。しかし、Windows は対応していないことが多く、iPad で写真を撮影する場合は確認したい。また [.heic] から「.jpg」に変換したいときは、PDF エキスパートで変換するとよい。

便利さへの慣れ

学習情報指導員

矢作東小学校

鈴木

広樹

「15618513 629522」

この数字の羅列を見て、ピンときた方は、恐らく同世代の方であろう。そう、ポケットベルへ送信するメッセージを入力しているのだ。私が高校生の時、休み時間になると校内の公衆電話は、メッセージを打つ生徒であふれていた。私も十円玉一枚でメッセージを打ち終えるために、一覧表片手にダイヤルを押していたが、やがて何も見ずにメッセージを打ち込めるようになっていた。慣れればできるようになるものだ。

ふと教室に目を向けると、スラスラと手を動かす子供たちがいる。Myタブレットで文字を入力しているのだ。小学生はローマ字入力をしている子供が多い。中学生になると、フリック入力を利用して子供が格段に増える。これも慣れだろう。子供は、ほどなくして本時の振り返りを記入し終えた。

今年度、「情報活用能力レベルマップ」が全教職員に配付された。このレベルマップは、学習指導要領で、「学習の基盤となる資質・能力」として位置づけられている情報活用能力の系統

性を一覧表にまとめたものだ。これを基に、自分の学級の子供が、どれくらいの文字入力レベルなのか、確認してみた。小学校高学年だと、1分間で20字の入力が目標だ。本時の振り返りを4分間で入力させると、平均は50字〜60字程度であった。残念ながら、まだ目標には達していないが、子供はノートに書くよりもやりやすいと言う。理由を聞くと、「手書きだと書き直すのが大変」「急いで書く」と雑になってしまふ」と答えた。デジタルでの文字入力の良さを自覚しているのだろう。その良さを存分に味わえるよう、子供の情報活用能力を育てなければいけない。

電話に向かって必死に数字を打ち込んでいた時代から二十年以上が経つ。十年経てば変化が起きる現代社会では、次々に便利な物が増えていく。便利さを味わうと「楽をしているのだろうか」と心配な気持ちも芽生えるだろう。手を抜くのはご法度だが、「楽して早く文字を入力」することで、浮いた時間は他の活動に使えるではないか。子供の情報活用能力を育てて、もっと創造的な時間を授業に増やし、深い学びを生み出していこう。

視聴覚教育あれこれ！！

● パナソニック教育財団による実践研究助成

「パナソニック教育財団実践研究助成」は、ICTを効果的に活用し、教育課題の改善に取り組む実践的な研究計画について助成されるものです。一年間の研究に対して五十万円の助成をする「一般」と、二年間で百五十万円を助成する「特別研究指定校」制度の二種類があります。

● 各種実践研究助成の紹介

- ・ 東書教育賞 (10月20日締切)
- ・ パナソニック教育財団実践研究助成 (例年1月中旬締切)

● 各種コンクールの紹介

- ・ IPA「ひろげよう情報モラル・セキュリティイコンクール」 (現在検討中)
- ・ ICT夢コンテスト (9月10日締切)
- ・ ふるさと岡崎メディアコンクール (例年11月末頃締切)
- ・ パナソニックKWN日本コンテスト (1月15日締切)
- ・ RISO「プリントコミュニケーションひろば」 (例年3月31日締切)
- ・ アジア国際子ども映画祭 (例年8月末頃締切)

※日本こども映画コンクール、ジェイアール四国コミュニケーションウェア「コラボミュージアムCitty作品づくりコンテスト」は、近年中止が続いています。

先生方ご自身の実践はもちろん、子供の作品を積極的に応募してみたいかがでしうか。

Ⅱレッツ・トライ！情報モラルⅡ

C B Tを活用した情報モラル教育

矢作西小学校 萩原 光彦

「事例で学ぶNetモラルC B T (Computer Based Testing)」を活用し、子供たちの情報モラルの理解度を把握した。子供たちが、ランダムに出題される十の質問に答えることで、五年生の児童が必ず要とする複数の事例が示された。その中から、「トークアプリ依存」を取り上げ、授業を行った。

始めに、動画を視聴し、トークアプリで友達からすぐに返信が来ないことに主人公がいら立ち、やがて友達から返信がなくなる様子を把握した。次に、いら立つ主人公についてどう思うか考えた。「相手の都合を考えるべき」「強要するのはおかしい」といった意見が出た。

そして、トークアプリを使うときに気をつけることを話し合った。「自分の都合だけではなく相手の都合や気持ちを考えて送るようにしたい」「親と決めた約束を守る」などの意見を出し合うことができた。

最後に、まとめ動画を視聴し、スマホ依存にならないために、目の前にいる人を大切にし、スマホに頼りすぎないようにすることを学習した。

情報モラル教育では、児童の実態に即した学習を計画する必要がある。事前のアンケートやC B Tを使うことで、指導者が実態を把握し、子供たちが情報社会で適正な活動を行うためのものになる考え方を身につけられる授業を行っていききたい。



Ⅱ実践報告Ⅱ

動画を活用して

秦梨小学校 社本 匠

三年生の体育科「ボール投げ」の授業で、どうしたら遠くへ投げられるのかを考えた。三年生と五年生の異学年でペアを作り、ポイントを教え合うという活動を行った。

しばらくすると、あるペアの児童たちが、iPadを使って動画を撮影し始めた。何をしているか聞くと、「投げている姿を自分で見ることができないから撮影して確認している。」と話していた。また、その動画を見ながら「ボールは投げる方向をもう少し高くした方がいい。」「なら、投げるときはどこを見たらいいんですか。」「など、アドバイスをする姿も見られた。はじめは10mしか飛ばなかった児童は、最後の計測では15mも投げることができた。ペアでの活動を終え、その児童に今日の活動を振り返って話を聞くと、「撮影してもらった動画を見ると、ペアの子の投げ方と自分の投げ方が全然違った。だから、まねをしたらすぐく遠くに投げられて、うれしかった。」と話していた。

昨年から体育科の授業

ではiPadで動画を撮影し比較する活動を多く取り入れてきた。そのかいもあり、最近では児童がiPadを授業の道具として、自然と活用する姿が多く見られるようになり、うれしく思う。可視化、再現化が容易であるiPadのさらなる活用法を探っていく、児童の学びを深めていきたい。



ライブフリーだよ

●令和5年度「親子映画会」のお知らせ

4年ぶりの制限なしの開催です。

〈上映日〉

- ・ 7月23日(日)
 - 午前 矢作市民センター
 - 午後 大平市民センター
- ・ 7月30日(日)
 - 午前 額田センター
 - 午後 東部市民センター
- ・ 8月6日(日)
 - 午前 南部市民センター
 - 午後 岩津市民センター
- ・ 8月20日(日)
 - 午前 六ツ美市民センター
 - 午後 中央市民センター

〈上映時間〉

- ・ 午前の部 午前10時～11時30分
- ・ 午後の部 午後2時～3時30分

〈上映作品〉

- ・ シンドバッドの冒険 ・ わらしべ長者
- ・ 日本のおばけ話シリーズ
- ・ 「きもだめしのぼん」「のっぺらぼう」
- ・ いっすんぼうし
- ・ 忍たま乱太郎「くノ一教室に潜入せよ」
- ・ 「しんべえがいない」

上映日ごとに上映作品が異なります。詳細は視聴覚ライブラリーHPでご確認ください。

〈申込方法〉

- ① インターネット(視聴覚ライブラリーHP)
- ※案内ちらしQRコードからも可能です
- ② 電話(2316789)



昨年度の様子